

近江 **さんすい**

2016/9 (第14号)



【写真】奥琵琶湖 晩秋の夕暮れ

【特集】「第6回マザーレイクフォーラムびわコミ会議」開催	1
【レポート】「河川愛護活動知事表彰を行いました」	3
【河川改修事業紹介】「～新しい放水路に切り替わる大宮川～」	5
【砂防課事業紹介】「急傾斜工事現場の紹介」	6
「砂防出前講座」	7
【協会だより】「河川功労者表彰」「滋賀県河港・砂防協会要望活動」	9

第6回びわコミ会議を開催しました！

マザーレイクフォーラム運営委員会

平成28年8月20日（土）、コラボしが21（大津市）にて「第6回マザーレイクフォーラムびわコミ会議」を開催しました。今回はその概要についてご紹介します。



びわコミ会議の概要

琵琶湖流域の保全に関わる人たちが一同に会し、お互いの立場や経験、意見の違いを尊重しつつ、思いや課題を共有し、琵琶湖の将来のために話し合うのが「びわコミ会議」です。この会議は、2011年に策定された「マザーレイク21計画（第2期）」の進行管理も担っています。

第6回を迎えた今回のテーマは「恵み 味わい 暮らし つなぐ」。県内外から212名（76団体）もの人が参加し、琵琶湖の食やそれを取りまく私たちの営みなどのテーマについて報告を聞き、また話し合いました。



みんなつながる報告会（午前の部）

午前のプログラムでは、5つの団体から琵琶湖の「恵み」や「食」、「暮らし」、また、森から川、琵琶湖までの「つながり」に関わる取組についてご報告いただきました。

「米原市ビワマス倶楽部」からは、米原市を流れる天野川にビワマスを戻す多様な取組についてご紹介いただきました。「TANAKAMI こども環境クラブ」からは、地域の子どもたちが田上山で見つけた生きものについて紹介してくれました。



その他、「須原魚のゆりかご水田協議会」、「有限会社池田牧場」、「滋賀県琵琶湖環境科学研究センター」からも活動についてご報告いただきました。各団体からの報告の後、それぞれの報告内容に関連するデータ（ビワマスの漁獲量、漁獲量に占める水田放流魚の割合、シカによる食害の変遷など）を提示し、活動や事業（アウトプット）がどのように環境の変化（アウトカム）につながるのかについても認識を深めました。また、参加者に配布された「びわ湖と暮らし2016」をもとに、琵琶湖のいまを様々な指標で振り返る「びわ湖なう」の発表も行いました。

最後に、今年3月までに運営委員会へご寄付をいただいた「びわ湖チャリティー100km 歩行大会実行委員会」「びわカンゴルフコンペ」「Flower Produce ichica」の3団体の代表者をお招きして、松沢松治委員長に目録を贈呈いただく寄付金受領式を行いました。

びわ湖のこれから話さへん？（午後の部）

午後のプログラムでは、「びわ湖と活動連携」「びわ湖と外来種」「びわ湖と漁師」など15のテーマ別グループに分かれて、現在の課題や今後の取り組みなどについて話し合いました。真剣な話や笑い声、ときには歌（！？）まで聞こえ、どのテーブルも多様なメンバーによる対話を楽しんでいるようでした。

グループでの話し合いを終え、メイン会場に戻ってきたところで、これから1年間、自分が琵琶湖のために何をするかを宣言する「私のコミットメント（＝約束）」を発表しました。「琵琶湖畔で家族とキャンプする」「湖魚をもっと食べる」「毎日琵琶湖の水に感謝する」など、多様なコミットメントが提示されました。

最後に各グループの代表者が登壇し、グループ内での話し合いの様子と、各グループでまとめた「キーセンテンス」を発表しました。

キーセンテンスは今後「びわ湖との約束」として取りまとめられ、行動指針として活用していくとともに、計画の見直しの際に活用していきたいと考えています。

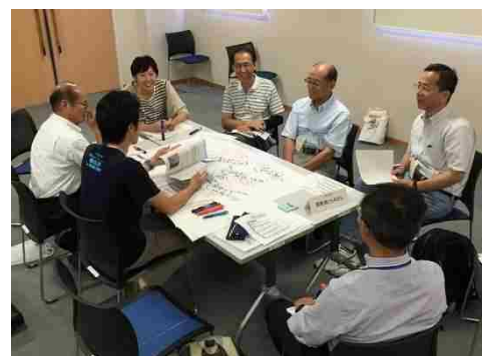


マザーレイクフォーラム運営委員会委員より一言

「午後の部でテーマ「びわ湖とものさし」を担当して」

「琵琶湖の善し悪しをどのように測ればよいか」について話し合うテーブルの進行役を担当しました。結果、私たちの暮らしやそこにいる人に焦点をあて、多様な人たちの感じる琵琶湖に耳を傾けていく必要があるとの認識から、キーセンテンスは「人間の五感の数値化に挑戦！」となりました。科学的データだけでなく、人間の感覚を大事にした新たな「ものさし」を考えていくべきと思いを新たにしました。

（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 佐藤祐一）



河川愛護活動知事表彰を行いました

滋賀県流域政策局 河川行政係

滋賀県では、県が管理する河川において河川愛護活動を実施している団体に対し、市町を介した委託という形で費用の助成を行っています。

地域の皆さんには県内各地で河川愛護活動に取り組んでいただき、平成27年度も、約11万人もの方々に参加をしていただきました。

河川愛護活動への関心をさらに高めていただくために平成24年度から始まった知事表彰ですが、今年度の表彰式は、7月22日（金）に滋賀県公館にて開催しました。

表彰団体は大津市の「盛越川上流を美しくする会」と高島市の「川島区自治会」の2団体です。「盛越川上流を美しくする会」を代表し会長の湯浅様、事務局長の安田様、「川島区自治会」を代表し自治会長の竹内様、奥津様が出席され、西嶋副知事より感謝状が贈られました。

表彰式後は、各団体と副知事が和やかに歓談されていました。



もりこしがわ

盛越川上流を美しくする会

- ・ 代表者：会長 湯浅 修
- ・ 所在地：大津市（盛越川）

・ 功 績

盛越川上流を美しくする会は、平成 10 年に発足し、以降現在まで 17 年間活動をされています。

年間 9 回という高い頻度で愛護活動を実施されていることから、生活ゴミの投棄が減少するなど、周辺的生活環境の保全に大きく貢献されています。また、ホタルの生態に配慮した河川愛護活動を実施することで、自然との共存に寄与されています。



かわしまく

川島区自治会

- ・ 代表者：自治会長 竹内 實
- ・ 所在地：高島市（安曇川・金丸川）

・ 功 績

川島区自治会は、一級河川安曇川と金丸川の河川敷において、5 年以上にわたり率先して草刈りや清掃活動を実施されています。

高齢化に伴い地域活動が厳しい状況の下、毎年 200 名近くの住民が参加し、34,000m²にも及ぶ広範囲の美化活動に精力的に取り組まれていることは、他の模範となるものです。また、河川の安全な維持管理にも大きく貢献されています。



河川改修事業・大宮川放水路の紹介 ～新しい放水路に切り替わる大宮川～

滋賀県流域政策局 河川改修係

平成9年の出水発生など、度重なる被害に見舞われた大宮川・足洗川沿川の洪水対策として、一級河川大宮川を新しい放水路に切り替える工事を行っています。



H9.8.5 出水状況



図1 大宮川および足洗川位置図

放水路事業概要

- ・改修延長 1.2km
- ・計画流量 160m³/s
- ・事業期間 S48～H28
- ・主な工種 掘削工、護岸工
橋梁工、床止工

主な浸水被害 ■

- 平成9年8月5日
- ・浸水面積 36ha
 - ・床上浸水 16戸
 - ・床下浸水 102戸

大津市坂本地先には大宮川と足洗川の2河川が平行に流れています。河川改修は、図1に示すように、大宮川の坂本地先から放水路を計画し、途中、足洗川も取り込みながら、両河川の洪水を流下させる放水路の方式によるものです。

昭和48年から河口より事業着手し、先に足洗川を取り込み、平成14年には大宮川に接続しました。大宮川の接続以降は洪水被害の発生がなく、特に平成25年の台風18号においても被害を防ぐことができました。40年以上に渡るこの改修により、50年に一度程度の確率で発生する降雨による洪水を安全に琵琶湖まで流すことができます。

現在、大宮川上流端の現川との取付け部と市道橋の架け替えを行っており、今年度中に完了する予定です。

放水路より下流の現川部に関しては、親しみのある河川として残していけるよう、関係機関と調整を行っています。

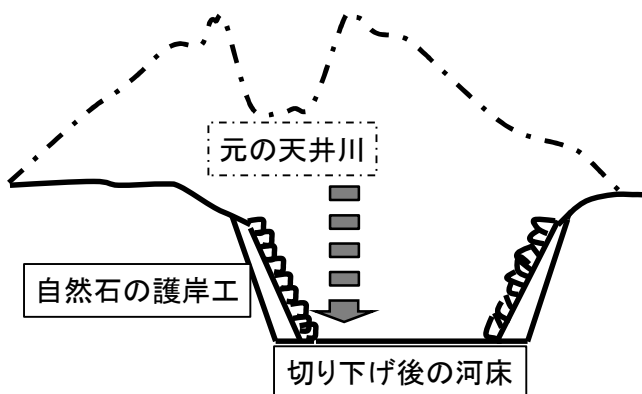


図2 天井川切り下げ



写真1 現在施工中の市道橋

急傾斜工事現場の紹介

滋賀県砂防課

【工事概要】

工事名：毛枚補助急傾斜地崩壊対策（総流防）工事
工期：平成 27 年 9 月 18 日～平成 28 年 11 月 30 日

工事場所：こうかしこうかちょうもびら 甲賀市甲賀町毛枚

工事概要：擁壁工 L=184m(h=3～8m)
落石防護柵工 L=184m(h=1.5m)

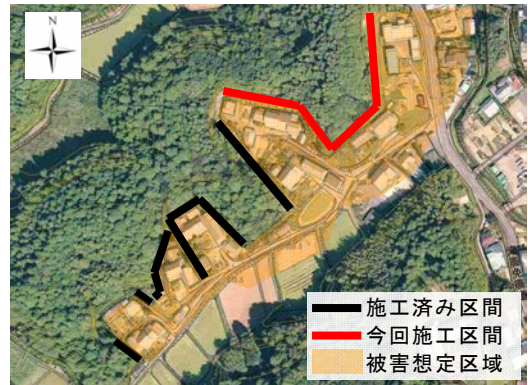
受注者：株式会社 橋本建設



【地形など】

工事を行っている毛枚地区は、滋賀県南部の JR 甲賀駅から南南東へ約 1.2km のところに位置しています。勾配 30～46°、がけ高さ 10～25m の急傾斜地が民家に近接しており、がけ崩れが発生する恐れがあります。

がけ崩れによる被害の恐れがある区域内には人家のほかに避難所指定されている「老人憩いの家毛枚荘」や市道があり、これらを守るために急傾斜地崩壊防止工事を行っています。



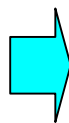
【工事について】

毛枚地区急傾斜地崩壊対策事業は平成 22 年度に事業採択され、平成 24 年度より第 1 期工事に着手し、現在、第 3 期工事を施工しています。

本工事の工法は斜面下部での待受対策としての擁壁工であり、一般的な工法ですが、急傾斜地が近接した民家裏での施工であり、施工幅が 3m 以下と狭小であることから、安全管理に十分注意して施工する必要があります。

平成 28 年 8 月時点で工事の約 8 割の施工を完了しており、平成 28 年 11 月に工事が完了する予定です。

本工事をもって当該事業は概成となります。



砂防出前講座

滋賀県砂防課

滋賀県内には、土砂災害が発生するおそれのある箇所が、約4,910箇所あります。土砂災害から身を守るためには、県民のみなさま一人ひとりが、地域の安全に関心を持っていただくことが大切です。

砂防課では、職員が出向いて土砂災害の特徴や土砂災害から身を守るために大切なことなどについて、わかりやすく説明する「砂防出前講座」を実施しています。平成27年度は、警察1か所、要配慮者利用施設2施設、小中学校6校、大学1校、8自治体、その他2団体の計20回開催しました。

● 講座の内容

1. 土砂災害の種類や特徴について
2. 土砂災害の発生状況について
3. 土砂災害から身を守るために（いつが危ない？・どこが危ない？）

小中学生には、模型の実演を通して、対策施設の効果などについても理解を深めてもらっています。



● 実施事例①（土砂災害・全国統一防災訓練）

毎年、防災・減災の取り組みの一環として、土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図るため「土砂災害・全国統一防災訓練」が実施されています。今年度は6月5日（日）に高島市伊黒・富坂地区（参加239名）および米原市日光寺（参加118名）において実施されました。

砂防課も訓練の一環として、土砂災害に関するパネル展示と砂防出前講座

を実施し、参加者の方々の土砂災害に関する防災意識の向上に一役買うことが出来ました。



● 実施事例②（減災キャンプ）

7月23日（土）～24日（日）にかけて、湖南市・あすなろ学校運営協議会主催で、小学生を対象とした「もしもの時に役に立つ減災キャンプ」が実施されました。煙中体験やドラム缶風呂などのメニューがあり、その中の1コマとして砂防出前講座を実施しました。参加者である小学生だけでなく、運営スタッフとして参加された中学生・保護者を含む約60名の受講者の皆さんは、土石流・地すべりの動画などを熱心に見て頂き、土砂災害の恐ろしさを知るとともに、ハザードマップの見かたなど警戒避難に関する内容まで学習していただきました。



● 年間を通じて随時受付中です！

ご依頼いただければ砂防課職員が出向きます。1か月前までに、日程調整や講座の内容について、お気軽に下記へご相談下さい。詳細は砂防課ホームページ「砂防出前講座」をご覧ください。

http://www.pref.shiga.lg.jp/h/sabo/15_demae/

<お問い合わせ先>

大津市京町四丁目1-1

滋賀県土木交通部砂防課

TEL：077-528-4193

協会だより

平成28年 河川功労者表彰

平成28年6月30日（木）と平成28年7月16日（土）に滋賀県および滋賀県河港・砂防協会から河川功労者表彰の伝達を行いました。

この「河川功労者表彰」とは、河川や水の分野で功績のあった個人や団体に対して、国土交通省や各都道府県からの推薦に基づき、公益社団法人日本河川協会が毎年表彰を行うものです。

今年度滋賀県内からは、「三田川をきれいにする会」と「竜王清流会」の2団体が受賞されました。受賞団体の活動をご紹介します。

三田川をきれいにする会

昭和55年に設立されました。以来、一級河川三田川における除草・清掃等の美化活動、魚つかみ大会の開催やホタルの保全活動、河川周辺の花植えなどの活動を通じ、住民の河川愛護意識の高揚と地域貢献に尽力されました。



竜王清流会

平成20年に設立されました。以来、淀川水系の一級河川善光寺川において、多くの住民や企業とともに「河川環境美化作戦」を実施されるなど、地域の河川愛護に尽力されました。

平成28年度総会決議による要望活動

近畿地方整備局へ要望活動

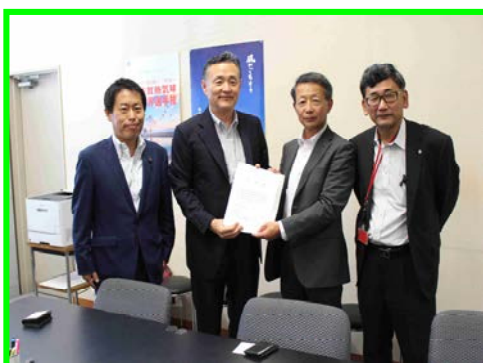
平成28年7月29日（金）に、滋賀県河港・砂防協会会長の山仲野洲市長をはじめ15名の要望団が、近畿地方整備局へ要望活動を行いました。朝比奈副局長、井上河川部長と面談を行い、治水事業の財源確保、河川整備、直轄事業化への支援、砂防事業等に係る意見交換を行い、要望をさせていただきました。



国土交通省へ要望活動

平成28年8月2日（火）に、協会会長の山仲野洲市長をはじめ11名の要望団が、国土交通省と県選出国會議員へ要望活動を行いました。

国土交通省では、宮内政務官、山田水管理・国土保全局長、津田官房技術参事官、五十嵐水資源部長、西山砂防部長と面談し、要望書を手渡すとともに、治水・砂防・港湾の要望および意見交換をさせていただきました。



近江さんすい 第14号 平成28年9月発行

〔発行者〕 滋賀県河港・砂防協会

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目 1-1 滋賀県土木交通部流域政策局内
TEL 077-528-4272 ・ FAX 077-528-4904 ・ URL <http://www.maroon.dti.ne.jp/shigakako/>